

商品棚「てまえどり」で食品ロス削減に向けたキャンペーンを実施

(生活協同組合コープこうべ・神戸市)

生活協同組合コープこうべと神戸市は、商品棚の手前に並べる販売期限が近い「値引き商品」の購入を促すキャンペーンを実施。食べられるのに廃棄される「食品ロス」の削減が狙い。

□ 商品棚手前の値引き商品などから購入する行動を「てまえどり」と銘打ち、市内34店舗で展開。

〈「てまえどり」を呼び掛けるポスターと値引きシール〉

□ 販売期限切れが近い商品に「なくそう食品ロス！ すぐに食べるなら是非！」と記した値引きシールを作成・貼付。

※貼付対象商品：値引きされる全ての商品（豆腐、うどん、パン、牛乳、鮮魚、精肉等）

□ 買物かごにも「手前から取ってね」と呼び掛ける啓発ステッカーを貼付。

〈キャンペーン専用値引きシール〉



〈買物かご用啓発ステッカー〉



□ コープ山手の店頭では、賞味期限が5日後の豆腐と1日後の豆腐の味比べを実施。

間違える人も多く、「味はほとんど変わらない」や「普段は後ろの商品を取ることが多い。その日に食べるものならもったいないので、手前から取るようにしたい」などという声も聞かれた。



コープこうべウェブサイト：<https://www.kobe.coop.or.jp/>

神戸市ウェブサイト（プレス）：<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2018/09/20180921190601.html>